



アーユ ボーワン



学校だより R7.10.1

No.5 齊藤 康輔

『学校は心臓』 …

『子どもたちは血液』である！

長かった夏休みが終わり、9月…2学期がスタートしました。14人の元気な笑顔と笑い声が響く学校はやはり良いものです。夏休み期間中、私は多くの時間を学校で過ごしていました。いつもと違って、人気のない学校は寂しいものです。

『学校は心臓である』と…私は考えて、今まで学校経営を行ってきました。

児童生徒のいない学校は…単なる「入れ物」であって、そこに『生命の躍動』はありません。長期休業中…独りの学校で改めて思い知らされました。

『心臓は学校』…『血管は教師』そして、そこを流れる元気な『血液は児童生徒』です。

我々『教師』は『血管』として…元気な『血液』を『導いていく役割』を担っています。

血管の行き先が不透明であったり…血管の壁が薄かったり…瘤があつたりしたら…血流は停滞したり、血管を破って出血…逆流したり…学校という心臓は止まってしまいます。つまり『子どもたちは迷子になって』しまいます。

元気の良い『血液=子どもたち』を…『力強く未来へ押し出すポンプ』が『心臓=学校』であると考えています。…子どもたちが登校して初めて心臓が動く…『生命の躍動』が始まっています。こう考えると…

保護者の皆様や関係機関の皆様はどのような関連性があると思いますか？？？

様々に思うことがあると思います。立場によって違いもあることでしょう。

私は…保護者の皆様方や関係機関の皆様方は…『クスリ』『栄養剤』『お医者さん』…と考えています。我々『学校を中心とする生命体』が『何となく調子が良くない』『病気になった』『手術や入院が必要』『アドバイスが欲しい』など…『元気になるため…元気をキープするため』の『力』を与えて下さっていると考えています。

本当に有り難く力強い存在です。いつもありがとうございます。

『クスリ』『栄養剤』は『良薬』にもなれば『毒薬』にもなります。処方を間違えると体調を崩すことにもつながります。…よりしっかりとした『連携』が必要になってきますね。

『心臓』がその役割をしっかりと果たすことのできるように、**多くの方々とのつながりを実感できたのが『運動会』でした。**

運動会を振り返り…私は『支えられている学校』『生かされている学校』を強く感じています。日本人会との共催運動会…実際に体験してわかりました。

多くの方々とのつながりの中で学校が『生かされている』と。

学校評価アンケートでは、**『挨拶』に関する項目で課題がある**と学校として考えています。学校では児童生徒会の活動や教師側からの働きかけを行い、子どもたちに生活の中での「挨拶の必要性」や「気持ちの良い挨拶」について…**『挨拶とは人と人をつなぐ大切なアイテム』**という実感を抱かせてあげたいと考えています。

これから『JSC フェスティバル』の取組が始まっています。子どもたちの「成長」の一端を看取ることができる大切な行事であると学校として考えています。

運動会同様に…『クスリ』『栄養剤』として、保護者の皆様には『子どもたち』や『先生方』を支えて頂けると有り難いです。よろしくお願ひ致します。

【お知らせ】

【学校警備会社の変更について】

すっかりご紹介が遅れて申し訳ありません。日本大使館のお力添えを頂き、夏季休業中の8月より、新しい警備会社が本校の警備を行っています。来校時、今までとの違いに戸惑うことがあるとは思いますが、よろしくお願ひ致します。

【ホギングシステム設置について】

9月より「蚊が媒介する感染症」の予防に、学校敷地内に「蚊を捕殺する設備（ホギングシステム）」を設置しています。デング熱等の予防の効果が期待されます。

【10月行事予定】

1日（水）全校朝会

8日（水）2~4年社会見学

9日（木）ダワルキャーマ

15日（水）中学部中間テスト

16日（木）ラグビー日本代表来校

17日（金）Jフェス取組み開始

21日（火）校外学習（ウスイランカ）

29日（水）カラチ日本人学校交流会